

Evocative Symbolic Totems

Alessandro Nutini

アレッサンドロ・ヌティーニ

象徴的なトーテムー喚起されるかたち

2025.11.21fri - 30sun





1 木彫 w23.2×d13.4×h39.8cm
ウツァーノ城の糸杉

表紙

3 木彫 w8.9×h31.6cm 栗の木（左）

5 木彫 w13.5×h19.3cm オリーブの根（右）

P1 黄昏の聖なる湖水 w29.7×h42.0cm 和紙に油彩



2 木彫 w 12.8 × h 34.6 cm
川の流木、サリ―チエ（柳）



P2 萩にて 吊るし柿 w 29.7 × h 42.0 cm
和紙に水彩



P3 踊る影 w 21.0 × h 29.7 cm
和紙に水彩

左より

18 木彫 w7.4×h7.4cm エイジュの根

19 木彫 w6.9×h5.1cm 杏の木の節

10 木彫 w9.7×h7.8cm エイジュの根



象徴的なトーテム ― 喚起されるかたち

絵画と同じように、彫刻もまた、絶え間ない変容のプロセスの中で、作品との対話から生まれ出る。

手作業のみで木を彫り出し、古代の大いなる彫刻家たちが行ったように、*a levare* 「削り取る」の技法によって形が現れ、やがて聖性が宿る。

二次元性に限られる平面の絵画とは異なり、これらの木の彫刻は空間を生きる三次元の造形であり、神秘性を深める謎めいた影を投げかけ内包する。

自然に委ねられ朽ちつつある木片は、拾われ、その奥に潜む本質—*anima* (靈魂)—を探る過程で、再び命が吹き込まれる。

やがて、詩的で霊的な感覚を喚起する新たな存在へと変容する。

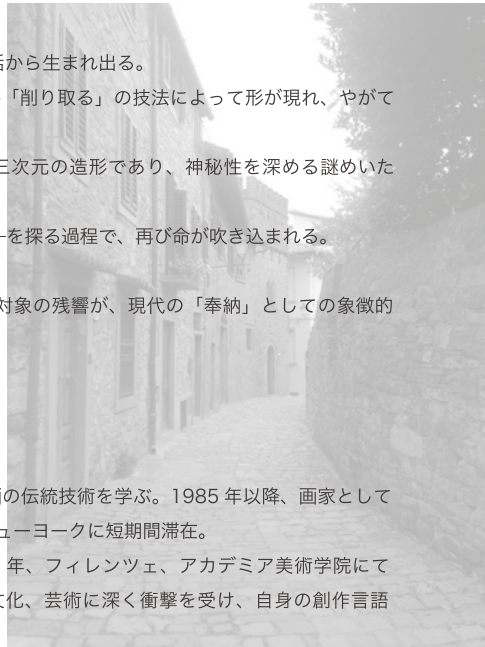
トーテム、偶像、神霊、擬人化された精霊 ― エトルリア、ローマ、中世の信仰対象の残響が、現代の「奉納」としての象徴的オブジェへと生まれ変わる。

Alessandro Nutini アレッサンドロ・ヌティーニ

1958 年 7 月 29 日、イタリア、フィレンツェ生まれ。

1975 年から数年フィレンツェの画家工房に弟子入りしフィレンツェ 15 世紀絵画の伝統技術を学ぶ。1985 年以降、画家として独立。トスカーナ地方に根ざすエトルリア文化に深く傾倒し、表現の源となる。ニューヨークに短期間滞在。

その後カリブ諸国を旅し、土着の色彩豊かな絵画に魅了され技術を学ぶ。1992 年、フィレンツェ、アカデミア美術学院にて裸体デッサン科目を取得。1995 年以来、毎年日本を訪れる機会を得る。その文化、芸術に深く衝撃を受け、自身の創作言語にも強い変化が現れる。



主な展覧会

- | | |
|------|--|
| 2001 | Frammenti D' Infinito 「無限からの断章」、法然院 (京都) |
| 2002 | Tazze? 「茶碗?」、FYR Arte Contemporanea (フィレンツェ) |
| 2005 | 神道知子 アレッサンドロ・ヌティーニ 2 人展 (京都フィレンツェ姉妹都市 40 周年記念展) Terra e Aria 「大地と大気」、
イタリア文化会館 (京都) Terre Toscane 「トスカーナの大地」、水戸忠交易 (東京) |
| 2007 | 第 7 回エコロジー・アース・アート 2 1 展、埼玉県立近代美術館 (埼玉)
Terra Mater 「テッラ・マーテル」、House of Art (京都)
Metamorfosi del VAS, 「器の変容」、Artion Art Gallery (京都) |
| 2009 | Papiers Paille 1998-2008, Espace Culturel Bertin Poirée, (パリ) |
| 2010 | Salumi Sospesi 「浮遊するサラミ」、miho project ミホ・プロジェクト (京都) |
| 2011 | Pessaggi Immginari – Tutto Scorre Nulla E' 「心象風景—万物流転」、
ギャルリ・ブチボワ (大阪) |
| 2013 | Leonarideschi – Ombre Sfuggenti, 「ダヴィンチ憧憬—幽か濛々たる陰影」、
ギャルリ・ブチボワ (大阪) 巡回展 |
| 2015 | Foto & Foto No 7, JAPAN,
アレッサンドロ・ヌティーニ+ジュンコ・アンドウ写真展、エルダ・トレス監修
カフェ・レッテラリオ・ギャラリー、Le Murate (フィレンツェ) |
| 2016 | Antiche Terre Toscane – Ombre Mistiche 「トスカーナ景 太古の幻影」
水戸忠交易 (東京)
Orizonnti Atmosferici 「地平線—大気の彼方」、ギャルリ・ブチボワ (大阪)
アレッサンドロ・ヌティーニ展、Four Dots Architect (京都) |
| 2019 | Slow Road プロジェクト、アート道程、グレーベ・イン・キャンティ (フィレンツェ) |
| 2022 | Mutanti (変異体), Spazio Desco, モンテフィオラーレ、グレーベ・イン・キャンティ (フィレンツェ) |
| 2023 | C'era una volta, CASA Hagi, 「はぎアート回遊ウィーク」イベントのレジデンス展覧会 (萩) |
| 2024 | Chi Cerca Trova (探せば見つかる), カーザ・ヴェスプッチ、モンテフィオラーレ、グレーベ・イン・キャンティ (フィレンツェ) |
| 2025 | Chi Cerca Trova II (探せば見つかる), カーザ・ヴェスプッチ、モンテフィオラーレ、グレーベ・イン・キャンティ (フィレンツェ) |



アレッサンドロ・ヌティーニ 個展

象徴的なトーテム ― 喚起されるかたち

2025.11.21fri - 30sun 11:00-18:00 (26 日水曜 休廊)

megumu art

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-12-2 三貴ビル 2 階
TEL 090-3451-8637 www.megumuart.com